

「ハイブリッドシステム工法協会」設立式

平成30年3月1日（木）16時より栗本鐵工所本社にて、工法協会設立式を開催しました。参加企業数17社（約50名）にお集まりいただき、無事に開催できました。内容につきましては、下記の通りです。

1. 会長挨拶（株式会社 栗本鐵工所 武田）

更新が必要な管路がますます増えてきているにもかかわらず、更新が進んでいません。これまでは、本管に対してかなり大きな口径のシールド工法でさや管を構築していましたが、ハイブリッドシステム工法では、本管とさや管が3口径差で施工が可能になりました。さらに、さや管構築では、推進工法を併用することで、工期短縮とコストダウンが可能です。また、本管布設では、持込工法と押込工法を併用することで、工期短縮が可能です。



2. 御来賓祝辞（京都大学 名誉教授 岡様）

祝辞をいただきました。推進工法及びシールド工法では、土質調査不足でのトラブルが多いので、気をつけて施工を行うようにアドバイスをいただきました。



3. 工法概要説明（株式会社 栗本鐵工所 末松）

パワーポイントで、さや管構築（推進・シールド併用型非開削工法）と本管布設（持込・押込併用工法）の概要説明を行いました。



4. 工法概要説明（ヤマトガワ 株式会社 上田）

上水道普及率の推移、更新が必要な管路及び管路更新工事の実態を紹介し、今後、ますます需要が見込まれることを説明しました。また、工法のポイントである併用方式について、説明を行いました。

◆事業予定

「上小阪配水場受水管布設工事」東大阪市の完工
発注予定2件のスペックイン
技術・積算資料の発刊（さや管構築と本管布設を1冊にまとめる）

◆活動方針

都市部の事業体及びコンサルタントへの積極的な工法活動の実施
スペックイン活動の強化
技術及び積算資料の充実

◆活動目標

適正協会員数の確保
西日本を中心に3件／年のスペックイン



5. 懇親会

副会長（中川企画建設 株式会社 井上）の合図で、乾杯を行いました。

ご観覧で、意見交換を行いました。

締めめの挨拶を副会長（ヤマトガワ 株式会社 山本）が行い、最後に一丁締めを行いました。

